

# 石川県畜産総合センター能登畜産センター行動計画

## 取組方針

石川県畜産総合センター能登畜産センターは、畜産経営の安定化と安全で高品質な畜産物の生産に資することを目的に、ブランド牛である能登牛の増産につなげるべく和牛(黒毛和種)の受精卵を県内農家に生産供給し、育種価を利用した肉用牛の改良指導等を行っています。

また、当センターの事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題のひとつであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融合を図りながら進歩発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を職員一丸となって推進していきます。

- (1)事業活動で使用する電気、ガソリン、軽油等の使用量を削減し、  
二酸化炭素の低減をします。
- (2)事業活動および事務業務で発生する廃棄物の削減をします。
- (3)事業活動全般で使用する水、紙の使用量を把握するとともに削減します。

平成22年12月22日

石川県畜産総合センター能登畜産センター

所 長 干 場 宏 樹

### 3. 環境負荷の低減目標

環境負荷の低減目標は前年度実績を基準にして1%を削減していくことを目標とします。

#### (1) 二酸化炭素排出量

環境負荷		単位	平成21年実績
二酸化炭素排出量	電力	Kg-CO <sub>2</sub>	26,698
	灯油	Kg-CO <sub>2</sub>	2,395
	A重油	Kg-CO <sub>2</sub>	5,400
	LPG	Kg-CO <sub>2</sub>	620
	ガソリン	Kg-CO <sub>2</sub>	2,030
	軽油	Kg-CO <sub>2</sub>	13,488
	合計	Kg-CO <sub>2</sub>	50,631

#### (2) 廃棄物排出量

環境負荷		単位	平成21年実績
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	—
	産業廃棄物	kg	—
	特別管理産業廃棄物	L	450
	合計	kg	450

#### (3) 水、コピー用紙

環境負荷	単位	平成21年実績
水の使用量	m <sup>3</sup>	4,043
コピー用紙の使用量	kg	84.5

#### 4. 環境負荷低減への具体的な取組

チェック表1

##### 二酸化炭素排出量削減の取組

NO.	取組内容	評価	責任者
	(事務管理)		
1	各部屋等の冷暖房温度を適正(冷房時28℃ 暖房時20℃程度)に設定する。	○	職員全員
2	冷暖房は必要な区域・時間に限定する。	○	職員全員
3	昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する	○	職員全員
4	事務用パソコンとプリンターは長時間使用しない時は電源を切る。	△	職員全員
5	作業効率の改善により残業時間を少なくする	○	職員全員
6	パソコンとコピー機の節電機能を活用する	△	職員全員
	(輸送・移動)		
1	公用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する	△	運転手・職員
2	アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける	○	運転手・職員
3	車の空調温度を適正温度に設定する	○	運転手・職員

チェック表2

##### 廃棄物排出量の削減・リサイクルの推進の取組

NO.	取組内容	評価	責任者
	(一般廃棄物)		
1	ごみの分別回収を徹底(表示、ルール)	○	職員全員
2	リサイクルの推進(3R=reduceリデュース減量、reuseリユース再使用、recycleリサイクル)	△	職員全員
3	詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する	△	職員全員
4	製品をできるだけ長時間使用する	○	職員全員
	(産業廃棄物)		
1	マニフェストをもとに産業廃棄物の処理を確認する。	○	職員全員

チェック表3

##### (1)水使用量の削減

NO.	取組内容	評価	責任者
1	配管からの漏水を定期的に点検する	○	職員全員
2	水道の蛇口を確実に閉め水を流しっぱなしにしないようにする。	○	職員全員

##### (2)コピー用紙使用量の削減

NO.	取組内容	評価	責任者
1	両面コピー、裏紙使用の徹底	○	職員全員
2	会議用書類、ISO用書類のコピー枚数を最小限に	○	職員全員
3	書類の提出はe-mailで行うようにする。	○	職員全員
4	書類の作成ミス、コピーミスをなくす	△	職員全員

#### 5. 環境行動計画の実施体制

毎月の所内会議で取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックする。